

創基 137 周年(創立 129 周年)の 記念礼拝が行われました！！

遺愛学院の礎は、今から 137 年前の 1874 年（明治 7 年）1 月 26 日にハリス夫妻がキリスト教の伝道のために来函した時から築かれました。（創基）すぐにハリス夫人は『日々学校』を始め、英語・聖書・裁縫・作法などを 5 人の子女に教えました。それはハリス氏の『愛育学校』に受け継がれましたが、函館の女子教育の実情を見るにつけ、もっと本格的な女子教育の学校それも寮付きの女学校を作りたいと願ったハリス夫人は米国の教会に献金を呼びかけました。それに応えてくれたのがライト夫人で、自分の愛娘のための教育資金と教会バザーの益金をあわせて 1800 ドルを女学校設立のために送って下さいました。それで 1882 年（明治 15 年）2 月 1 日北海道最初の文部省認可の私立女学校であるカライン・ライト・メモリアル女学校が元町に開校されました。（創立）3 年後に校名は遺愛女学校と変更され、今日に至っています。現在の杉並町の本館は、1908 年（明治 41 年 1 月）に完成されたもので、木付ハウス（旧宣教師館）とともに 103 年目を迎え、国の重要文化財に指定されています。日本の中学・高校で国の重要文化財で勉強できるのは遺愛だけのようです。今ご健在の遺愛の同窓生は、全員この本館で勉強しています。なお、創立ではなく創基で周年行事をお祝いしている学校に北海道大学（創基は札幌農学校開校から）や筑波大学（創基は高等師範開校から）、金沢大学等があります。

遺愛では 1 月 17 日（月）に同窓生の石館とみさん（今年 95 歳）を創基 137 周年記念礼拝にお招きし、メッセージを聞きました。



←雪の本館

2011 年 1 月 17 日（月）